

第 223 回広島大学平和センター研究会

「世界の内戦を考える：

レバノン、ユーゴスラビア、シリアを事例に」を開催

日時：2019年10月31日（木）12：50～14：20

場所：広島大学総合科学部

東京外国語大学黒木英充教授をお招きし、「世界の内戦を考える：レバノン、ユーゴスラビア、シリアを事例に」と題して、第 223 回平和センター研究会を開催した。内戦の定義にはじまり、レバノン・ユーゴスラビア・シリアの各内戦の歴史的背景、各内戦の特徴、共通点など詳しくひも解いていただいた。講演会後には、学生との活発な質疑応答もあり、有意義な研究会であった。

